

氏名	大岡 華子	部署	社会福祉子ども学科	職名	助教
研究分野	社会福祉学				
学位	修士（福祉社会）				
学歴	2002年3月 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業 2004年3月 法政大学大学院人間社会研究科福祉社会学専攻（修士課程）修了				
経歴	2012年10月～ 埼玉県立大学保健医療福祉学部 助教				
所属学会（役職）	日本社会福祉学会・福祉社会学会・日本社会政策学会・埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2020年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)（一般）		東京市部のホームレスの実態と支援 施策に関する実証的研究	研究代表者	2020.4～2023.3	
2	日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)（一般）		「貧困者の＜声＞の政治に関する 研究—「全国生活と健康を守る 会」の歴史的検討を通して」	研究分担者	2020.4～2024.4	
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	社会福祉概論	○	8	初年次導入科目であることから、具体的でわかりやすい講義になるように、映像・新聞記事なども活用し授業を展開した。一部オムニバス形式を用い、1年次から学科内の教員の講義を通して教員の研究分野に触れられるように工夫をした。		
2	公的扶助論	○	15	生活保護制度だけでなく、生活困窮者の生活課題や生活歴などわかりやすく説明を行った。時々映像や新聞記事などを使用し、なるべく最新の情報を伝えられるように心がけた。制度改正や新しい制度についても行政等のパンフレットも用いて、実習等でも活用できるように工夫した。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	社会福祉演習		15	初年次導入科目であることから、レポートの書き方等大学での学ぶための基礎的な力を演習を通して身につけられるように工夫をした。		
2	ソーシャルワーク演習Ⅰ	○	15	ヒューマンケア体験実習での学びを踏まえた上で、ソーシャルワーカーとしての基礎的な援助技術を身につけられるよう工夫をした。		

3	社会福祉専門演習Ⅰ	○	15	履修者2名の学生に対して、レポート・情報収集・レジュメ作成等3年次でゼミで学ぶ上で必要な基礎的な技術を指導するとともに、児童や貧困をテーマに文献の輪読・ディスカッションを行った。
4	社会福祉専門演習Ⅱ	○	15	履修者2名の学生に対して、レポート・情報収集・レジュメ作成等卒業論文執筆に必要な基礎的な技術を指導するとともに、児童や貧困をテーマに文献の輪読・ディスカッションを行った。
5	社会福祉専門演習Ⅲ	○	15	履修者3名の学生に対して、レポート・情報収集・レジュメ作成等卒業論文執筆に必要な技術を指導するとともに、虐待や子どものスポーツ格差をテーマに文献の輪読等を行った。
6	社会福祉専門演習Ⅳ	○	15	履修者3名の学生に対して、レポート・情報収集・レジュメ作成等卒業論文執筆に必要な技術を指導するとともに、虐待や子どものスポーツ格差をテーマに文献の輪読やディスカッション等を行った。卒業論文執筆後は国家試験対策を行った。

(3) 実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ		15	ソーシャルワーク実習Ⅱに向けて、個人票や実習課題の添削、事前学習の指導を行った。
2	ソーシャルワーク実習Ⅱ（学内実習も含む）		2020.8-2020.11	地域包括支援センター・障害者更生相談所・社会福祉協議会等の相談機関で実習を行う学生の指導を行った。
3	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ		15	ソーシャルワーク実習Ⅱの事後指導として、グループ学習の指導、報告書作成や報告会にむけての指導を行った。
4	IPW実習	○	5	今年度より学科の科目担当者として実習を担当している。今年度は、初めて遠隔での実施となったため、他の教員と相談しながら、事例や手引きの作成、研修や報告会の運営を行った。

(4) 論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文		主指導 3名	副指導 名
2	修士論文		主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 名
3	博士論文		主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 名

(5) その他

	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし		

4. 社会貢献活動

(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	川崎市多摩市民館ボランティア講座	川崎市	「ボランティア活動を知る～ボランティアの具体例を聞き、考え方を学ぶ」	2020.9
2	埼玉県生活困窮者自立支援制度人材養成研修	埼玉県	「基本倫理と基本姿勢」に関する講義と演習	2020.11

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等

	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	目黒区	障害支援区分審査会 委員	2012.4～
2	越谷市	越谷市都市計画審査会 委員	2018.10～

(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	一般社団法人 彩の国子ども・若者支援ネットワーク	学習支援活動の調整・助言・学内ジュニアスポーツの企画実施・大学との情報交換会の実施等	2019.4～
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	入試委員会入試実施部会委員		2020.4～
2	学科等における委員会等	2年次学年担当		2020.4～
3	大学広報活動	オープンキャンパス担当		2020.4～
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				